

科目ナンバー： DB11

授業コード： 8420001010

講義科目名称： 看護システム・ケア開発学特論

英文科目名称： Advanced Nursing Systems and Care Development

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1学年	2単位	選択必修
担当教員			
◎岡村典子、◎恩幣宏美			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 通年	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎岡村 典子	新潟県立看護大学	216	norio@niigata-cn.ac.jp
	◎恩幣 宏美	新潟県立看護大学	313	honbe@niigata-cn.ac.jp
【本学の科目区分】 専門科目				
【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 ◎ ◎ ◎ ○ ○				

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護学研究的動向を把握して看護システム・ケア開発にかかわる看護学領域の理論と知識の理解を深めることができる。</li> <li>2. 保健医療福祉分野にかかわる国内外の社会状況を踏まえ、看護実践の場における課題を論述できる。</li> <li>3. 看護システムおよびケアにかかわる事象を選出して既習の理論の適用可能性を検討し、結果を論述できる。</li> <li>4. 看護システム・ケア開発にかかわる看護学研究における方法論について理解を深めることができる。</li> <li>5. 看護学研究の実施に不可欠な研究倫理に関する理解を深め、倫理的感受性を高めることができる。</li> <li>6. 看護システム・ケア開発にかかわる看護学領域の研究実施における自己の課題を考察することができる。</li> </ol>
------	---

授業概要	質の高い看護ケアを導く知識や技術、現在および将来のヘルスケアニーズに対応したケアシステムの確立と発展にかかわる理論と知識について理解を深める。 基礎看護学研究、看護教育学研究、看護管理学研究を中心に自己の研究課題にかかわる先行研究の精読と批判的吟味を通じて、具体的な研究方法論の理解を深め、新たな知見の確立が必要な研究領域について展望する。
------	---

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：講義 学修課題：科目ガイダンス、看護システム・ケア開発学分野の看護学領域概説 学修内容：・科目概要の理解 ・看護システム・ケア開発学分野(基礎看護学、看護教育学、看護管理学)の概説 事前学修：自身のこれまでの研究活動を振り返って活動成果と、研究関心を整理して臨む 事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める 備考：岡村、恩幣</p> <p>2 授業内容 授業形態：演習・討議 学修課題：国内外の研究動向の把握と研究課題の検討(1) 学修内容：1. 学生の研究関心にかかわる国内外の文献検討による研究動向の把握 2. 学生の研究関心から研究課題の導出に向けた討議 事前学修：前回講義時に指示された学修課題に取り組む 事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める 備考：岡村、恩幣</p> <p>3 授業内容 授業形態：演習・討議 学修課題：国内外の研究動向の把握と研究課題の検討(2) 学修内容：1. 学生の研究関心にかかわる国内外の文献検討による研究動向の把握 2. 学生の研究関心から研究課題の導出に向けた討議 事前学修：前回講義時に指示された学修課題に取り組む 事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める 備考：岡村、恩幣</p> <p>4 授業内容 授業形態：演習・討議 学修課題：国内外の研究動向の把握と研究課題の検討(3) 学修内容：1. 学生の研究関心にかかわる国内外の文献検討による研究動向の把握 2. 学生の研究関心から研究課題の導出に向けた討議 事前学修：前回講義時に指示された学修課題に取り組む 事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める 備考：岡村、恩幣</p> <p>5 授業内容 授業形態：演習・討議</p>
------	---

	<p>学修課題：看護システム・ケア開発学分野の看護実践にかかわる課題と理論開発(1)  学修内容：1.看護システム・ケア開発学分野の看護実践にかかわる課題と理論開発の論述  2.看護システム・ケア開発学分野の看護研究における理論開発  3.学生の研究課題の発表と討議  事前学修：前回講義時に指示された学修課題に取り組む  事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める  備考：岡村、恩幣</p>
6	<p>授業内容  授業形態：演習・討議  学修課題：看護システム・ケア開発学分野の看護実践にかかわる課題と理論開発(2)  学修内容：1.看護システム・ケア開発学分野の看護実践にかかわる課題と理論開発の論述  2.看護システム・ケア開発学分野の看護研究における理論開発  3.学生の研究課題の発表と討議  事前学修：前回講義時に指示された学修課題に取り組む  事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める  備考：岡村、恩幣</p>
7	<p>授業内容  授業形態：演習・討議  学修課題：看護システム・ケア開発学分野の看護実践にかかわる課題と理論開発(3)  学修内容：1.看護システム・ケア開発学分野の看護実践にかかわる課題と理論開発の論述  2.看護システム・ケア開発学分野の看護研究における理論開発  3.学生の研究課題の発表と討議  事前学修：前回講義時に指示された学修課題に取り組む  事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める  備考：岡村、恩幣</p>
8	<p>授業内容  授業形態：演習・討議  学修課題：研究の目的と意義の検討(1)  学修内容：1.学生の研究課題にかかわる先行研究の検討  2.学生の研究目的と研究意義の発表と討議  事前学修：前回講義時に指示された学修課題に取り組む  事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める  備考：岡村、恩幣</p>
9	<p>授業内容  授業形態：演習・討議  学修課題：研究の目的と意義の検討(2)  学修内容：1.学生の研究課題にかかわる先行研究の検討  2.学生の研究目的と研究意義の発表と討議  事前学修：前回講義時に指示された学修課題に取り組む  事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める  備考：岡村、恩幣</p>
10	<p>授業内容  授業形態：演習・討議  学修課題：研究の目的と意義の検討(3)  学修内容：1.学生の研究課題にかかわる先行研究の検討  2.学生の研究目的と研究意義の発表と討議  事前学修：前回講義時に指示された学修課題に取り組む  事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める  備考：岡村、恩幣</p>
11	<p>授業内容  授業形態：講義・演習・討議  学修課題：看護学研究と倫理、看護学研究に用いられる方法論の理解と検討(1)  学修内容：1.研究倫理と看護学研究者の倫理行動の確認  2.看護学研究における哲学的立場と認識論、看護学研究の方法論の確認  3.学生の研究課題にかかわる国内外の先行研究論文の研究手法の批評と討議  4.学生の研究に用いる方法論の発表と討議  事前学修：前回講義時に指示された学修課題に取り組む  事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める  備考：岡村、恩幣</p>
12	<p>授業内容  授業形態：講義・演習・討議  学修課題：看護学研究と倫理、看護学研究に用いられる方法論の理解と検討(2)  学修内容：1.研究倫理と看護学研究者の倫理行動の確認  2.看護学研究における哲学的立場と認識論、看護学研究の方法論の確認  3.学生の研究課題にかかわる国内外の先行研究論文の研究手法の批評と討議  4.学生の研究に用いる方法論の発表と討議  事前学修：前回講義時に指示された学修課題に取り組む  事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める  備考：岡村、恩幣</p>
13	<p>授業内容  授業形態：講義・演習・討議  学修課題：看護学研究と倫理、看護学研究に用いられる方法論の理解と検討(3)  学修内容：1.研究倫理と看護学研究者の倫理行動の確認  2.看護学研究における哲学的立場と認識論、看護学研究の方法論の確認  3.学生の研究課題にかかわる国内外の先行研究論文の研究手法の批評と討議  4.学生の研究に用いる方法論の発表と討議  事前学修：前回講義時に指示された学修課題に取り組む  事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める  備考：岡村、恩幣</p>
14	<p>授業内容  授業形態：演習</p>

	<p>学修課題：研究計画書草案の作成と検討(1)</p> <p>学修内容：1. 研究計画書の構成の検討と草案の作成 2. 作成した研究計画書草案の概要発表と討議</p> <p>事前学修：前回講義時に指示された学修課題に取り組む</p> <p>事後学修：講義時の学修内容を整理し、文献を用いて理解を深める</p> <p>備考：岡村、恩幣</p> <p>授業内容</p> <p>授業形態：演習</p> <p>学修課題：研究計画書草案の作成と検討(2)</p> <p>学修内容：1. 研究計画書の構成の検討と草案の作成 2. 作成した研究計画書草案の概要発表と討議</p> <p>事前学修：前回講義時に指示された学修課題に取り組む</p> <p>事後学修：これまでの学修内容を振り返り、研究実施に関わる自己課題を整理する</p> <p>備考：岡村、恩幣</p>
15	
事前・事後学習	
評価方法、評価基準	<p>到達目標1～6に対して、事前学修課題 15%、発表内容15%、討議への参加度20%、最終レポート50%により評価する。</p> <p>最終レポートとして次の2つを提出する。</p> <p>1. 看護システム・ケア開発学特論で作成した研究計画書草案</p> <p>2. 1. に対する自己批評(1,200字程度)</p>
テキスト	特に指定しない。
参考図書・資料等	適宜紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール	適宜説明する。
教員からのメッセージ	看護システム・ケア開発分野の看護実践に貢献する研究成果を産出し、看護学研究を推進する人材となるための主体的な学修を期待します。
オフィスアワー	事前にメールで日時を問い合わせる。